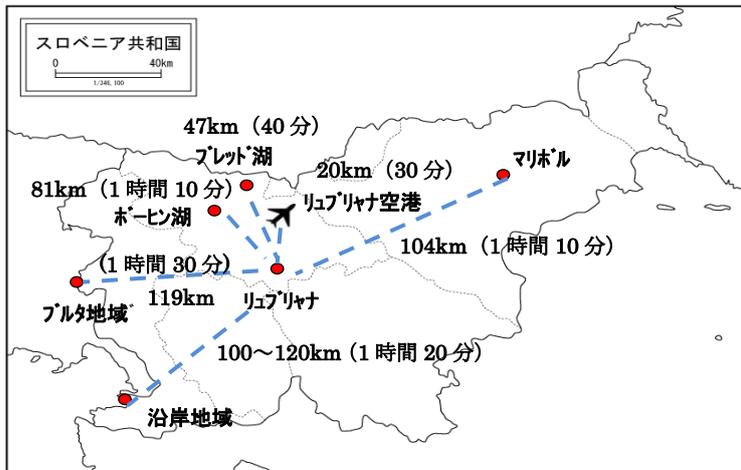


# リュブリャナ (Ljubljana)

平成28年9月

在スロベニア日本国大使館



市長や外交団による式典やレセプションにも利用されている。

●城への登り方は、ケーブルカー(2016年5月現在、往復4ユーロ)、車、徒歩がある。



©Wikipedia

## ①リュブリャナ城(Ljubljanski grad)

●高さ約80mの小高い丘の上にある古城。1144年に最初の城郭ができ、1335年からは、ハプスブルグ家の支配になった。その後16世紀にリュブリャナー帯を襲った地震の被害を受け、改築された。

●1905年にリュブリャナ市が城の所有権を得て以降徐々に整備が進められ、現在は市のシンボルとして市民の憩いの場になっている。また、

## ②リュブリャナ市庁舎

●15世紀後半に建築された旧市街で最も古い建物。18世紀初頭から様々な建築家の手が加えられ、講堂がゴシック様式である一方、正面のデザインはベネチア様式の影響を受けている。

●市庁舎の傍には、18世紀半ばにベネチア出身のイタリア人彫刻家フランチェスコ・ロツバが建設した噴水がある。なお、この噴水はイミテーシ

ョンで、本物は現在、ナショナルギャラリーに移されている。



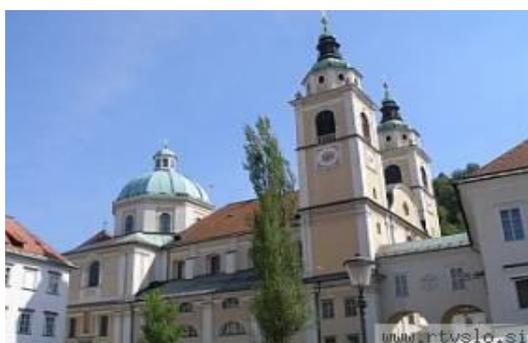
© 2016 Rear View Mirror

### ③聖ニコラス教会 (Stolnica sv. Nikolaja)

●13世紀には既にこの場所にロマネスク様式の教会があった。14世紀と15世紀の2度にわたって火災に見舞われた。

●18世紀初頭より、ローマの建築家でイエズス会修道士のアンドレア・ポッツォの設計で増築がなされたが、予算不足のため断続的な工事が続き、19世紀に入りようやく現在のバロック様式に完成した。

●聖ニコラス教会の名称の由来は、リュブリャニツァ川でギルド(商工業者の中で結成された各種の職業別組合)を形成していた船漕ぎや漁夫たちの守護神とされる「ニコラス聖人」に因んだもの。



### ④フランシスコ会教会 (Franciškinska cerkev)

●17世紀に建設、正式名称は「聖マリア受胎告知教会」。正面(ファサード)のピンク色は、フラン

シスコ会を象徴する色である。ファサード中段には、ラテン語で「ave gratia plena(幸あれ、聖籠に満ち満ちられしお方)」と書かれている。

●教会内部には、ベネチア出身のイタリア人彫刻家フランチェスコ・ロツパによって18世紀に建築されたバロック様式の祭壇がある。

### ⑤プレシェーレン広場 (Prešeren trg)

●多くの人々が行き交う、リュブリャナ市の中心的な広場。19世紀のスロベニアの代表的な詩

人、フランツ・プレシェーレンに因んで名付けられ、広場には彼の銅像が立っている。

●この銅像から、ウオルフォヴァ通り(Wolfova ulica)を見ると、右手の白い建物の壁に彼の片思いの相手であったユリア・プリミツの彫刻があり、お互いを見つめ合っている。



### ⑥三本橋 (Tromostovje)

●中世から現在の場所に旧市街へとかかる一本橋があった。近代化が進むと人口が増え、一本では手狭になったことから、建築家ヨジェ・プレチェニックに建築が任せられ、1932年に両脇に歩行者用の二本の橋が付け加えられ、三本橋となった。橋のモチーフは、ベネチア運河の橋。

●2007年までは車両も走行していたが、現ヤンコヴィッチ市長の構想で歩行者天国化された。



©1988-2015 AEGEE-Europe

### ⑦青空市場・魚市場

●三本橋を渡り、左手に進んだところにあるヴォドニコフ広場(Vodnikov trg)で、月～土に開かれているのが青空市場。

●かつてこの場所には学校が建っていたが、1895年の地震で倒壊。その後、再建されることはなく、現在のような市場になった。広場には名前の由来にもなった、詩人・教育者のヴァレンティン・ポドニコフの銅像が建つ。



© 2014 LJUBLJANA.GUIDE

●三本橋からドラゴン橋にかけて、長い円柱廊に支えられた建物内が魚市場。

●この建物は、建築家のヨジェ・プレチェニックにより1942年に完成した。ドラゴン橋に近づくにつれて円柱が高くなっており、これは三本橋から見た際に、視覚的に高低差を大きく感じないようにするためのプレチェニックの配慮によるもの。



© Neil Miller 2011e

### ⑧ドラゴン橋(Zmajski most)

●この場所には、1820年に作られた木橋があり、その正面に肉屋があったため「肉屋橋」と呼ばれていたが、オーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフの即位(1848年)40周年を記念して、1888年に新しい橋の建築が計画された。このため、橋には1848と1888の二つの年号が記されている。しかし、建設が遅延し、1901年ようやく完成した。

●同皇帝の即位を記念する「即位橋」が公的な名称だったが、橋に佇む4つのドラゴン像に因む「ドラゴン橋」の通称が普及し、オーストリア・ハンガリー帝国が崩壊した第一次大戦後、これが正式名称になった。



© Alamy

### 土産物店

#### ●Dom (土産物店)

住所: Ciril-Metodov trg 5

電話: +386 (0)1 234 76 30/+386 (0)40 295 096

Email: [info@majolka-dom.si](mailto:info@majolka-dom.si)

HP: <http://www.majolka-dom.si/>

営業時間(2016年5月現在)

月～金: 8:00～20:00

土: 8:30～20:00

日: 10:00～19:00

T シャツ、マグネット、ポストカードといった小物類から、スロベニアの伝統工芸品(レース細工、木工製品等)の品揃えがある。

●Piranske soline(塩屋)

住所: Mestni trg 8

電話: +386 (0) 1 42 50 190

E-mail: [piranske.soline@soline.si](mailto:piranske.soline@soline.si)

HP: <http://www.soline.si/en/>

営業時間(2016年5月現在)

月~金: 9:00~20:00

土: 9:00~17:00

日・祝: 10:00~15:00

食用、調理用の塩の他、定番土産の塩味のチョコレート、バスソルトなど美容グッズも取り扱う。店内には日本語の商品説明もある。

●Oliviers&Co (オリーブオイル専門店)

住所: Ciril Metodov trg 20

電話: +386 (0)1 232 22 92

E-mail: [info@oliviers-co.si](mailto:info@oliviers-co.si)

HP: <http://www.oliviers-co.si/>

営業時間(2016年5月現在)

月~金: 9:30~20:00

土: 9:00~19:00

日: 10:00~15:00

各国のオリーブオイルや、スロベニア産のパンプキンシードオイルを取り扱う。テイステイングも気軽に出来、好みのオリーブオイルを購入できる。